

2014年3月9日、第20回総会が行われました。1号議案から9号議案まで執行部の提案通りに承認されましたのでご報告申し上げます。

ヒトと動物の関係学会会長 石田 戢

ヒトと動物の関係学会

第20回総会資料

総会議題

- 1号議案 2013年次事業報告
- 2号議案 2013年次決算報告
- 3号議案 監査報告
- 4号議案 2014年次事業計画（案）
- 5号議案 2014年次予算（案）
- 6号議案 新評議員について
- 7号議案 役員を選出について
- 8号議案 会長推薦理事及び執行体制について
- 9号議案 その他

日時：2014年3月9日（日）午後1時より

場所：東京大学教養学部 13号館 1313番教室

< 1号議案 >

2013年次事業報告

1) 2013年12月31日現在の会員数 正会員 718名 名誉会員 2名
賛助会員・法人会員 8団体

2) 学術大会の開催

第19回学術大会 東京大学農学部1号館8番教室、アネックスセイホクギャラリー
大会実行委員長 南 佳子 (みなみ動物病院)

参加人数 129名

3月9日(土)・3月10日(日)

シンポジウム1「エコツーリズム」

演者：鹿熊 勤「六次産業化の視点から展開されている獣害対策事例」

広瀬 敏道「地域を元気にする日本型のエコツーリズム」

横山 隆一「日本のエコツーリズムの課題」

震災特別講演

松木 洋一「東京電力福島第一原発事故の放射能に曝されている 家畜と飼育農家、
支援市民の現況－避難地域にはまだ900頭以上の肉牛が生きている！」

シンポジウム2「猫がジェンダーを超えるとき－男が猫を飼う心理」

演者：内山 秀彦「現代社会における猫の存在」

井本 史夫「猫男子ですが、何か？」

室岡 一郎「なぜ、男たちはネコと暮すのか」

遠矢 家永子「『男』がネコに癒されたいワケ」

一般口演 21題 ポスター演題 8題

3) 研究会の開催

2013年1月26日(土)第9回「学生・院生のための学術発表審査会2013」

審査員：学術委員、編集委員など

審査演題：21演題(関東12：関西9) この年から発表会形式での審査は行わない

2013年1月26日(土) 関西シンポジウム2013「ヒトと動物の関わり－癒しから治療へ」

場所：京都女子大学F校舎(法学部校舎) 模擬法廷

コーディネーター：大矢 大

進行：伊谷原一

演者：横室 純一「犬を用いた重度発達障害へのプログラム」

大矢 大「ペットの関わりと精神療法」

森阪 匡通、酒井 麻衣、小木 万希「イルカと泳ぐ」
亀崎 直樹「障害をもつ子供と飼育下のイルカの触れ合い」

2013年4月27日(土) 第97回月例会「日本人の動物観」
場所：帝京科学大学 千住キャンパス 本館3階 1305 教室
講演者：石田 戢

2013年6月22日(日) 第98回月例会「PTSDとアニマルセラピー～その可能性を探る
アローン・ワッサーマン氏をお招きして」
講演者：アローン・ワッサーマン

2013年10月5日(土) 第99回月例会「IAHAIOカンファレンス2013報告会」
場所：帝京科学大学北千住キャンパス本館 1301・02 教室
講演者：内山秀彦

富永佳与子
帝京科学大学学生の皆様
小林愛
濱野佐代子
加藤元
横山章光

2013年12月1日(日) 第100回月例会 動物観研究会2013公開ゼミナール
「鳥を飼う人が少なくなったわけ」

場所：東京農工大学農学部 2号館 1階 11番教室
演題：開会挨拶 亀山 章

「郊外型・都市型動物園における来園者の比較と考察～多摩動物公園と野毛山動物園の来園者実態調査2013より～」

靱山あずさ・大林駿斗・大崎康平・齋藤美雪・石田戢

「動物園来園者の動物園観」 大崎康平・大林駿斗・靱山あずさ・石田戢

「アニマル・コミュニケーターについて」 小澤淳司・横山章光

「イマジナリー・コンパニオンについて」 安倍由里香・横山章光

「動物の他者性に関する考察」 平 侑子

「動物慰霊・供養碑に表われた人と動物の関係の時代変遷」 依田賢太郎

「動物観をつくる動物園—熊本市動植物園のサル山と飯田市動物園のカモシカ展示」
若生謙二

「公立動物園が住民福祉施設になった時—日本動物園経営史（1951～1982年）—」
佐渡友陽一・若生謙二・石田戢

特別セッション「日本人が鳥を飼わなくなったわけ」

「日本人が鳥を飼わなくなったわけ」

細川博昭

「江戸時代の川柳に詠まれた飼い鳥たち」

安田容子

「文鳥を用いた動物介在教育の検討と保護者の反応について」

井口楓・花園誠

総合討論

4) 会議の開催

常任理事会 3/10, 4/30, 9/28

理事会 3/10

評議員会 3/10

編集委員会 3/10

学術委員会 1/27, 4/30, 9/28

5) 学会誌の発行

第 33 号発刊 1 月 1200 部

第 34 号発刊 3 月 1200 部

第 35 号発刊 7 月 1200 部

第 36 号発刊 12 月 1000 部

動物観研究 18 号 12 月 1100 部

2013年度 決算報告

1. 会計報告

2013年12月31日現在

I、収入の部

(単位:円)

科目	2013年度決算	2013年度予算	予算比	備考
一般・学生会費	3,644,500	3,355,000	109%	
賛助・法人会費	270,000	420,000	64%	
大会参加費	673,000	820,000	82%	学術大会 大会費、懇親会費
出版物売上	267,465	200,000	134%	学会誌他
広告費・別刷費	129,500	100,000	130%	
雑収入	51,080			シンポジウム、月例会等
預貯金利子	60	300		
雑収入計	51,140	300	17047%	
当期収入合計	5,035,605	4,895,000	103%	
前期繰越額	2,999,107	2,999,107		
収入の部合計	8,034,712	7,894,107	102%	(当期収入合計+前期繰越額)

II、支出の部

(単位:円)

科目	2013年度決算	2013年度予算	予算比	備考
学会誌印刷費	1,278,690	2,500,000		学会誌通巻33号～35号・動物観
学会誌制作費・編集費	1,133,475			学会誌通巻33号～35号制作費・編集費
小計	2,412,165	2,500,000	96%	
大会費	898,370	1,750,000		講演料、会場費、懇親会費、アルバイト代等
シンポジウム・月例会費	294,121			講演料、会議費、IAHAIO関連
通信費	206,514	(事業費・会議費)		HP管理費、電話
小計	1,399,005	1,750,000	80%	
郵送費	283,464	200,000	142%	
人件費	600,000	900,000		事務人件費
旅費交通費	345,460			
事務費	124,608			事務用品、コピー代含む
小計	1,353,532	1,100,000	123%	
雑費	86,645	10,000	866%	振込手数料、事務局移転費用を含む
当期支出合計	5,251,347	5,360,000	98%	
次期繰越額	2,783,365	2,534,107		
支出の部合計	8,034,712	7,894,107		

2. 会費納入状況

個人会員会費納付状況(2013年12月31日現在)

年度	各年度末総会員数	納付件数	納付率	昨年末	今年度増加
2010年度分会費	868	711	81.9%	707	4
2011年度分会費	818	629	76.9%	603	26
2012年度分会費	801	744	92.9%	646	98
2013年度分会費	768	556	72.4%	26	530

※2009年度より5年滞納者を退会者扱いにしている

2010年納付	779	3,729,000円
2011年納付	700	3,351,000円
2012年納付	628	2,987,500円
2013年納付	754	3,644,500円

賛助・法人会員会費納付状況(2013年12月31日現在)

年度分	会員数	納付済件数	
2010年度分			
賛助会員	12	6	50.0%
法人会員	2	2	100.0%
2011年度分			
賛助会員	12	4	33.3%
法人会員	2	0	0.0%
2012年度分			
賛助会員	9	7	77.8%
法人会員	1	1	100.0%
2013年度分			
賛助会員	7	5	71.4%
法人会員	1	1	100.0%

< 号議案 >

監査報告

2013年1月1日から12月31日までの2013年度における会計および業務の監査を行い、内容について適正であると認めたのでこれを報告する。

2014年2月23日

監事 中川 哲男



加藤 由子



< 4号議案 >

2014年次事業計画（案）

1) 学術大会の開催

2014年3月8（土）・9日（日）

東京大学駒場キャンパス 13号館 1313教室

シンポジウム第一部「20周年記念シンポジウム これまでとこれからの HARs を考える」

「HARs 発足と発展の経緯」

コーディネーター：石田 戢

演者：林良博「HARs とは何か」

奥野卓司「HARs 発足の頃」

井本史夫「継続の力は遊びの心」

「今後の HARs を考える」

演者：加藤謙介「『ヒトと動物の関係学会誌』に見られる「ヒトと動物の関係」に関する一試論」

横山章光「これからの HARs への提言」

シンポジウム第二部「犬はどこまで理解されたのか」

座長：南 佳子

演者：村山美穂「犬の性格を遺伝子から見る一作業犬の選択のために」

甲田菜穂子「身体障害者補助犬と社会の受け入れ」

荒田明香「ここまでわかったイヌの行動（仮題）」

2) 研究会の開催

シンポジウム 2 回（2014年1月京都終了）

月例会 4 回（2013年12月 終了）

学生審査会 1 回（2014年1月 終了）

2014年1月26日（日）第10回「学生、大学院生のための学術発表審査会2014」

審査員：学術委員、編集委員など

演題：22演題（関東18、関西4）

*発表会形式での審査は行わず、審査員による審査のみ

2014年1月26日（日） 関西シンポジウム「人と動物の関係学と高校教育」

場所：京都女子大学F校舎（法学部校舎）模擬法廷

コーディネーター：若生謙二

パネリスト：喜多村晴幸「大阪の農業高校での農と動物を通じて学ぶ取り組み」

原敬一「魅力ある動物関連学科づくり」

三輪嘉文「動物との関わり方が、学校、学科を変えた」

コメンテーター：福岡今日一

細井戸大成

2014年6月 第101回月例会「亀 その不思議な魅力について（仮題）」予定

2014年9月 第102回月例会 開催予定 内容検討中

< 5号議案 >

2014年度 予算(案)

(単位:円)

I、収入の部				
科目	2014年度予算	2013年度決算	決算比	備考
一般・学生会費	3,329,000	3,644,500	91.3%	過去3年間実績平均端数切捨て
賛助・法人会費	270,000	270,000	100.0%	賛助会員7、法人会員1
大会参加費	673,000	673,000	100.0%	例年実績より
出版物売上	267,000	267,465	99.8%	例年実績より
広告費・別刷費	129,500	129,500	100.0%	
雑収入	50,000	51,080	97.9%	動物観研究会より
預貯金利子	300	60	500.0%	郵便振替口座より銀行への移し替えを定期的に行うことによる増加
当期収入合計	4,718,800	5,035,605	93.7%	
前期繰越額	2,783,365	2,999,107	92.8%	
収入の部合計	7,502,165	8,034,712	93.4%	

II、支出の部				
科目	2014年度予算	2013年度決算	決算比	備考
学会誌印刷費	1,340,000	1,278,690	104.8%	学会誌及び動物観研究/各1000部消費税値上がり分3%
学会誌制作費	1,010,000	1,133,475	89.1%	学会誌制作費・編集費/消費税値上がり分3%
小計	2,350,000	2,412,165	97.4%	
大会費	925,000	898,370	103.0%	講演料、会場費等/消費税値上がり分3%
シンポジウム・月例会費	303,000	294,121	103.0%	講演料、会議費、IAHAIO関連/消費税値上がり分3%
通信費	213,000	206,514	103.1%	HP管理費、電話/消費税値上がり分3%
小計	1,441,000	1,399,005	103.0%	
郵送料	292,000	283,464	103.0%	消費税値上がり分3%
人件費	618,000	600,000	103.0%	事務人件/消費税値上がり分3%
旅費交通費	356,000	345,460	103.1%	/消費税値上がり分3%
事務費	128,000	124,608	102.7%	/消費税値上がり分3%
小計	1,394,000	1,353,532	103.0%	
雑費	24,500	86,645	28.3%	振込手数料他+予備費/消費税値上がり分3%
当期支出合計	5,209,500	5,251,347	99.2%	
次期繰越額	2,292,665	2,783,365	82.4%	
支出の部合計	7,502,165	8,034,712	93.4%	

< 6号議案 >

新評議員について

会田 保彦	ヤマザキ学園大学	大丸 秀士	元安佐動物公園
天野 卓	ヤマザキ学園大学	高野 正博	高野病院・熊本
安藤 孝敏	横浜国立大学	高橋 春成	奈良大学
安藤 元一	東京農業大学	工 亜紀	さつきペット行動カウンセリング・東京
伊勢田哲治	京都大学	竹田津 実	写真家
石田 オサム	帝京科学大学	竹花 正剛	R.E.A.D.D.学習相談室・大阪
井本 史夫	井本動物病院・横浜	武部 正美	武部獣医科医院・横浜
入交 眞巳	日本獣医生命科学大学	田名部雄一	岐阜大学
岩重 慶一	HAB21 研究所	谷口 和之	岩手大学
大石 孝雄	東京農業大学	津田のぞみ	のぞみ牧場学園
太田 恵美子	Equine Facilitated Project	坪田 敏男	北海道大学
太田 光明	麻布大学	野中 健一	立教大学
大谷 伸代	麻布大学	信實 洋介	朝日医療専門学校福山校
大矢 大	京都女子大学	波多野幾也	NPO 法人日本放鷹協会
尾形 庭子	Purdue University	旗谷 昌彦	旗谷動物病院
小川 益男	東京農工大学	花園 誠	帝京科学大学
柿沼 綾子	柿沼ペット病院・栃木	濱野佐代子	帝京科学大学
加隈 良枝	帝京科学大学	平岩由伎子	純血日本猫保存会
柏村 文郎	帯広畜産大学	水越 美奈	日本獣医生命科学大学
椛島 大輔	嬉泉子どもの生活研究所	三宅 邦建	九州保健福祉大学
川嶋 舟	東京農業大学	宮下 実	近畿大学
汾陽 光盛	北里大学	務川 光彦	エトレ
栗田 博之	大分市教育委員会	村山 美穂	京都大学
黒澤 弥悦	東京農業大学	森 裕司	東京大学
楠瀬 良	日本装蹄協会	森下 はるみ	
小暮 規夫	小暮動物病院	森島 隆司	みどり動物病院・名古屋
小菅 正夫	北海道大学	山口 千津子	(公社)日本動物福祉協会
木場 有紀	帝京科学大学	山越 言	京都大学
小宮 輝之	元(財)東京動物園協会	安田 章人	九州大学
首藤 文榮	岩手大学	山根 義久	(財)鳥取県動物臨床医学研究所
東海林克彦	東洋大学		
杉田 陽出	大阪商業大学		
杉本 恵子	南小岩ペットクリニック・東京		
清野 聡子	九州大学		

< 7号議案 >

役員を選出について

ヒトと動物の関係学会立候補者

ヒトと動物の関係学会会則施行第 4 条の規定により、石田会長の推薦を持って常任理事会で決定され、平成 25 年 12 月 14 日に委嘱を受けた選挙管理委員の務川光彦、花園誠をもって平成 26 年 1 月 10 日付けで会則第 10 条の規定による役員立候補を募りました。平成 26 年 2 月 8 日当日消印有効の締切後、2 月 15 日時点で以下の立候補があり、それぞれ定数であったことを確認し、ご報告いたします。

会長候補立候補者 若生 謙二 (大阪芸術大学)

以上 1 名

理事候補立候補者 奥野 卓司 (関西学院大学)
南 佳子 (みなみ動物病院)
新島 典子 (ヤマザキ学園大学)
福岡 今日一 (㈱イー dog 研究所)
加藤 謙介 (九州保健福祉大学)
中島 定彦 (関西学院大学)
小川 博 (東京農業大学)
内山 秀彦 (東京農業大学)
細井戸 大成 (㈱VR ENGINE)
横山 章光 (帝京科学大学)

以上 10 名

ヒトと動物の関係学会 選挙管理委員会

務川 光彦 (株式会社東急エージェンシー)

花園 誠 (帝京科学大学)

平成 24 年 2 月 15 日

理事会推薦監事候補

天野 卓 (ヤマザキ学園大学)

加藤 由子 (フリーライター)

< 8号議案 >

会長推薦理事及び執行体制について

平成 26 年 3 月 9 日

1. 会長推薦理事

ヒトと動物の関係学会会則施行規則第 10 条の規定により、新会長の推薦によって推薦された理事 9 名は以下の通りです。

会長推薦理事 池谷和信 (国立民族学博物館)
伊谷原一 (京都大学)
甲田菜穂子 (東京農工大学)
小林信一 (日本大学)
近藤誠司 (北海道大学)
局 博一 (東京大学)
瀬戸口明久 (京都大学)
谷田 創 (広島大学)
吉田剛司 (酪農学園大学)

以上 9 名

2. 執行体制について (案)

副会長、事務局長、常任理事は以下の通りとする。

副会長

伊谷 原一

奥野 卓司

事務局長

南 佳子

常任理事

内山秀彦 (学術担当)

加藤謙介 (編集担当)

横山章光 (国際担当)

吉田剛司 (編集委員長)

<9号議案>

その他